

Technical Description

# Landscape Gardening

職種定義

造園



ワールドスキルズインターナショナルは、その競技運営委員会の決議により、またその憲章、運営規則および競技規則に基づいて、技能五輪国際大会の本職種における下記の最低要件を承認している。

本職種定義は以下の内容で構成されている。

- 1 序文
- 2 ワールドスキルズ職業基準 (WSOS)
- 3 評価戦略と仕様
- 4 採点スキーム
- 5 競技課題
- 6 職種管理と情報伝達
- 7 職種限定の安全要件
- 8 材料と機材
- 9 職種限定規則
- 10 来場者とマスコミに対する職種の広報活動
- 11 持続可能性
- 12 産業界との協議に関する情報
- 13 付録

# 1 序文

## 1.1 職種競技の名称と説明

### 1.1.1 職種競技の名称

造園

### 1.1.2 関連する職務または職業の定義

造園家の主要な役割は、庭園、風致地区の設計、設置と維持管理業務である。造園家は顧客と会って提案するプロジェクトについて話し合い、そのプロジェクトを実現させるための助言やガイダンスを提供し、顧客の要望を注意深く解釈する必要がある。

プロジェクトの内容は様々であり、個人の庭、公共の庭、公園、公共のオープンスペース、スポーツやレクリエーション会場、運動場、その他の風致地区などを含む。造園家は顧客の要求を満たし、都市計画規制を遵守しつつ、完成したプロジェクトと地域全体がどのように調和するかや、庭園スペースと都市環境がどのように相互に作用するかについてのビジョンを持ちながら革新的なスキームを作成しなければならない。

造園家は初期段階での相談やデザインから、設置に至る全過程、プロジェクト管理と設置チームの監督、庭園の発展・成熟に伴う継続的な維持と開発に関する助言やガイダンスの提供まで、プロジェクト全般に関わっている。

土壌の種類と構造、地理、気候条件、想定される利用の仕方に関してその土地の長所と制限を考慮したバランスの取れた計画を作成し、実施するためには、植物や樹木の知識を含めた、ハードスケープ（堀や歩道）とソフトスケープ（植栽や生垣）の両方の詳細な知識が必要である。ハードスケープや建設土木に関する知識やスキルも大変重要である。電気設備の設置や、配管工事、灌漑設備等関連するスキルも、プロジェクト全体を持続可能で永続的なものとするために必要である。

造園家は、さまざまな植物、自然の資源、その他の材料を利用している。そのため、彼らは製作、ロジスティクスの持続可能性や自然環境とそこに住む野生生物に対し造園が与える影響の両方の観点から、そのような材料が環境に与える影響を認識しなければならない。

庭園や風致地区は、レクリエーションやリラクゼーション用の美しいエリア、密集した都市環境のオープンスペース、あらゆる年齢や才能の人々に適した空間、そしてコミュニティ活動やコミュニティの団結を支援する施設を提供することによって世界中の多くの人々の生活の質を向上させている。

造園家には、環境問題の解決や既存の居住地域の再活性化に関わる、世界を市場に据えた多くの機会がある。

### 1.1.3 チームの選手数

造園は2人の選手を1チームとするチーム職種競技である。

### 1.1.4 選手の年齢制限

選手はその技能競技大会の開催年において22歳以下でなければならない。

## 1.2 本書の位置づけと重要性

本文書は、この職種競技で競うために必要となる基準、また、競技を運営する上での評価指針や方法と手順に関する情報を含む。

各エキスパートと各選手は、この職種定義について理解しておく必要がある。

「職種定義」の異なる言語間の解釈の相違に際しては、英語版が優先される。

## 1.3 関連書類

この職種定義は職種限定の情報のみを含むため、以下のものと共に用いること。

- WSI-倫理行動規程
- WSI-競技規則
- WSI-ワールドスキルズ職業基準の枠組
- WSI-ワールドスキルズ評価戦略
- WSI-本文書に記されているオンラインの情報源
- ワールドスキルズ安全衛生および環境に関する方針と規制
- ワールドスキルズ基準評価ガイド（職種限定）

## 2 ワールドスキルズ職業基準（WSOS）

### 2.1 WSOSに関する一般的な説明

WSOSは、技術的および職業的能力における国際的な最良事例の土台となる知識、理解、技能と能力について詳述している。これらは職業的役割に特化していると同時に横断的である。それらは共に、業界や企業においてその関連する職務または職業が何を意味するかについて、全世界で共有される理解を反映したものでなければならない（[www.worldskills.org/WSOS](http://www.worldskills.org/WSOS)）。

職種競技はWSOSの記述に従い、国際的な最良事例を可能な限り反映することを目的としている。したがって、WSOSは職種競技のために必要とされる訓練や準備についての指針でもある。

職種競技において、知識や理解の評価は実技の評価を通して行われる。知識や理解力のテストはやむを得ない理由が無い限り、別途行うことはない。

WSOSは項目付きのセクションで区切られ、参照番号が付いている。

各セクションで合計点における割合（パーセント）が定められ、WSOSに占める相対的重要度が示されている。これはしばしば「重要度」と呼ばれる。パーセント評価をすべて合計すると100になる。重要度は、採点スキーム内の評点の配分を決めるものである。

競技課題を通して、採点スキームはWSOSに記載されている技能と能力のみを評価する。それらは職種競技の制約内で可能な限り包括的にWSOSを反映する。

採点スキームは実際に可能な範囲で、WSOS内の評点の割り当てに従う。WSOSで規定されている重要度を歪めないのであれば、最大5%までの変動は許容される。

## 2.2 ワールドスキルズ職業基準

セクション		相対的重要度 (%)
1	<b>作業の構成と管理</b>	10
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• いかにして庭をその環境に適合するよう設計するか、また規模、造園環境、位置、気象条件および物理的環境についてはどのような制約があり得るか。</li> <li>• 庭は生きた素材を用いたダイナミックで変化する環境である。</li> <li>• 地方計画や建設規制、また、それらがどのように造園術に関係し、影響を与えるか。</li> <li>• 庭やオープンスペースが計画され造られる都市や農村環境の範囲</li> <li>• 造園に関わる持続可能性の問題、特に材料の調達と造園が環境や野生生物に与える影響に関する問題</li> <li>• 安全衛生や環境に関連した法的要件と慣行</li> <li>• 持続可能性と材料のリサイクルの重要性</li> <li>• 造園家が使用する工具の種類と用途およびメンテナンス</li> <li>• 造園家が使用する材料の種類</li> <li>• 定められた予算内で仕事をすることの重要性</li> <li>• チームの一員として効果的に作業を行うことの重要性</li> <li>• 複雑な技術的な図を解釈し、図案を描く方法</li> <li>• 造園に関する、数学的計算と幾何学</li> <li>• 寸法、立面図、空間認識</li> </ul>	
	<p>各自は以下を実施できること：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 適切な工具を安全に正しく使用する（例えばハンマー、のみ、卓上石切鋸、と手持ち電動工具）。</li> <li>• 現場の清潔さと安全を確保する。</li> <li>• 仕事のパターン、流れ、ロジスティクス[s1][K12]を[s3]整えておく。</li> <li>• 人間工学、安全衛生、個人の防護を考慮する。</li> <li>• 健康とウェルビーイングの実現に向けた作業過程を適用する。</li> <li>• 複雑な技術図面を解釈し、図案を描く。</li> <li>• 資材（例えば石、木、植物、その他の天然資材）の調達</li> <li>• チームの一員として、他の職業の人たちと効率良く作業を行う。</li> <li>• 合意されたタイムスケジュールと予算内で造園プロジェクトを完成させる。</li> </ul>	
2	<b>顧客サービスとコミュニケーション</b>	5
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 効果的かつ積極的な顧客との関係の重要性</li> <li>• チームワークや他業種との良い協調関係の重要性</li> <li>• 正式な、または非公式なコミュニケーションの方法とその応用</li> <li>• ICTを活用したコミュニケーションや作業プロセスのサポート</li> </ul>	

	<p>各自は以下を実施できること：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>顧客の指示事項に従う。</li> <li>プロジェクトの設計・作成と予算、計画や環境上の懸念といった制約について、顧客に助言とガイダンスを提供する。</li> <li>継続的なメンテナンスに関するアドバイスと指導を提供する。</li> <li>問題点の解決</li> <li>顧客に優れたサービスを提供する。</li> <li>作業プロセスや顧客サービスにさまざまなICTを活用する。</li> </ul>	
セクション		相対的重要度 (%)
3	庭園のデザインとデザインの解釈	10
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>好ましい庭園デザインの原則</li> <li>庭園デザインの国際的、文化的な特徴</li> <li>都市や市街地の庭園やオープンスペース、また、都市生活を支え、人々の生活の質を改善させる役目を持った有機体が環境に与える影響</li> <li>思索のためや心の休息の[s4][KI5]場[s6]としての庭の利用</li> <li>ハードスケープ（構造物による造園）、配管工事、電気装置の実用性</li> <li>様々なスポーツ・サーフェース、その用途や設置</li> <li>遊び場、スポーツエリア、地方公園、都市公園、レクリエーション場などの計画が必要な公共オープンスペースの種類</li> <li>土壌の種類、それが植物や灌木、木々を支えるしくみ</li> <li>庭園デザインに影響する環境要因（例えば天気、地形、面する方位、立地など）</li> <li>庭やオープンスペースについて想定される利用方法または利用者、また、そうした利用方法あるいは利用者がどのように設計に影響するか</li> <li>現代の庭園デザインの傾向</li> <li>気候変動が造園の役割と範囲に与える影響</li> </ul>	
	<p>各自は以下を実施できること：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>顧客の指示事項に合わせた庭園の設計</li> <li>環境の特徴を反映し、地形、立地、予想される気象条件、土壌の質、自然環境などを最大限に活かした庭園の設計</li> <li>想定される使用者のニーズに合った庭園やオープンスペースの設計</li> <li>環境への配慮と持続可能性に関する設計要件を特定し、それを満たす。</li> </ul>	
4	石、厚板、プレキャスト部材の成形と配置	15
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象となる各構造の種類と個々の造園資材が最も活かされる方法に応じて要求される種々の設置方法</li> <li>利用可能な石、厚板、花崗岩、プレキャスト部材の種類や用途</li> <li>セメントや接着剤、支持材の種類や用途</li> <li>水平、直立、角度や面積を計算し計測するために使用される機器</li> <li>正確性の重要性</li> <li>庭園のデザインと建設時に適用される数学の原理</li> <li>ハードスケープ素材の供給元</li> </ul>	

	<p>各自は以下を実施できること：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>完成した庭園などの構造的安定性を確認するために地盤を評価する。</li> <li>土木用工作機械（地ならし）と掘削機材、または手工具を用いて碎石層、基礎づくりのため表面をならす。</li> <li>碎石層の要件を計算し、計画した場所に設置する。</li> <li>様々な層をなす基礎材を用いる等により、様々な構造の骨材ベースを設置し、規定通りに隙間なく埋める。</li> <li>掘削ズリ、ガレキを持続可能な方法で処分し、可能であればリサイクルし、環境に適切な配慮をする。</li> <li>計画や寸法を読み取り、計画から施工の規模を見積もる。</li> </ul>	
<b>セクション</b>		<b>相対的重要度 (%)</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>天然または人工の材料を要求されたサイズおよび/または形状に切断し、形づくり、切削する。</li> <li>階段、壁、通路、中庭、小道など、指示に従って単一の製造物を配置する、および/または複数の製造物を組み合わせる。</li> <li>ルース法・フィット法の両方を用いてハードスケープを作り上げる v</li> <li>適切なセメント、接着剤や支持材を正しく最も適切な状況で使用する</li> <li>指示に従い、所望のハードスケープを作り上げる v</li> <li>測定値を実寸大で考え、適切な器具を用いて材料に切断用目印を付けるか、レイアウト用に張り糸で現場に目印をつける。</li> <li>指示に従い、水平面や斜面に構造要素を設置する（舗道、階段、デッキ、ターフ（芝土）と「平面」のエリア）。</li> <li>フェンスの支柱などの構造要素を垂直方向（鉛直）に設置する。</li> <li>仕上げた表面について勾配の操作を行い、斜面に地上排水を作る。</li> <li>周囲の環境と他の生物を保護する。</li> <li>材料の保管、取扱い、移動、安全に関し、適切なロジスティクス戦略を適用する。</li> </ul>	
<b>5</b>	<b>材料の切断やハードスケープ素材以外による垂直・水平構造物の組み立て</b>	<b>18</b>
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図面/仕様の指示に従い、材木/木の資材を切断し、継ぎ合わせる（特定の角度、角切り、斜角、留め継ぎなど）</li> <li>水平、垂直、角度、面積等を計測、計算するための機材</li> <li>正確性の重要性</li> <li>庭園のデザインと建設時に適用される数学の原理</li> <li>木材の種類と庭園用構造体でのその用途</li> <li>庭園で使用される材木の長期メンテナンス</li> <li>庭園の構造体に使用される金属フレーム、ガラス、安全な表面材などの資材の種類</li> </ul>	
	<p>各自は以下を実施できること：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画や寸法を読み、計画から施工の規模を見積もる。</li> <li>測定値を実寸大で考え、適切な器具を用いて材料に切断用目印を付けるか、レイアウト用に張り糸で現場に目印を付ける。</li> <li>木材や木片を正確に計測し、指示通りに切断する。</li> <li>材木/木片部材を、留め金具（例えば釘、ネジ、ボルト、ラグ、ブラケットや取り付け金具）で組み立てる。</li> <li>やすりがけ、スムージング、染色その他の特別な処置を行って材木/木片の組み立て品を仕上げる。</li> </ul>	



	<ul style="list-style-type: none"> <li>指示通りに、水平方向や斜面に構造部材を設置する（舗道、階段、デッキ、芝土および「平面」のエリア）。</li> <li>フェンスの支柱などの構造部材を垂直方向（鉛直）に設置する。</li> <li>仕上げた表面について勾配操作を行い、斜面に地上排水を作る。</li> <li>遊具、バーベキュー、ガーデンファニチャー、小屋、サマーハウスなどの屋外/庭園用の機器についてアドバイス、調達、設置をする。</li> <li>フェンス、境界ユニット、ゲートの設置</li> <li>最終用途、周辺の状態および持続可能性を考慮して、最適な環境下で最良の材料を利用する。</li> </ul>	
セクション		相対的重要度 (%)
6	<b>下地、土壌と根覆い（マルチ）</b>	5
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な型と組成の土壌や植物生育培地</li> <li>土壌の特徴や用途を決定するための評価や検査方法</li> <li>様々な種類の土壌や植物生育培地が植栽に与える影響</li> <li>土壌添加剤の種類、用途</li> <li>泥炭のような自然生成物の使用が環境に与える影響</li> <li>土壌を有機体と考えた場合の生息環境特性</li> <li>様々な土壌添加剤、植物生育培地、根覆い、堆肥の機能</li> </ul>	
	<p>各自は以下を実施できること：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指示された通りに、植栽のために土壌および/または土質改良剤を使用する。</li> <li>植栽その他の目的のために有機および/または無機の根覆い材料を設置する。</li> <li>土壌型や土壌添加剤に推奨用途を当てはめる。</li> <li>土壌添加剤、植物生育培地、根覆い、堆肥を正しく使用する。</li> <li>あらゆる種類の植栽や植林のための正確な土作り</li> <li>所定通りに芝を敷き、地ならしし、水平にして土壌エリアを整備する</li> <li>芝生の種まき用の土作り</li> <li>最善の使用法を決定、評価するための土壌調査</li> </ul>	
7	<b>植栽及び植物（草木）のケア</b>	25
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>植物、灌木、野菜、ハーブ、果物、樹木の分類と植物学的な名称と、それらの最適な使用時期と方法</li> <li>植物の成長と生育、動的な生育環境や庭園デザインに与える影響</li> <li>様々な植物、灌木と樹木に好ましい条件</li> <li>さまざまな種類の草や芝生素材とその最適な用途</li> <li>様々な種類の植物、灌木と樹木の維持管理方法</li> <li>植物、灌木と樹木を害する病気や害虫</li> <li>害虫や病気の対処法</li> <li>持続可能で自然に配慮した害虫や病気の対処方法</li> <li>造園で使われる化学製品の安全な取扱い、用途やその保管方法</li> <li>化学薬品の使用に関連した環境要因と持続可能な要因</li> </ul>	

	<p>各自は以下を実施できること：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パッケージや保護カバーを取り除き、植物の良好な状態を確保し、植栽に向けて植物や樹木の準備をする。</li> <li>土作りや植栽エリアの整備</li> <li>樹木や灌木の取扱いや植栽</li> <li>多年生植物、一年生植物、地被植物を扱い、準備した植栽床に植える</li> <li>選んだ植物を、成長パターンと視覚的な効果を考慮して間隔を空けて植栽する。</li> <li>造園の完成時に植栽エリアが成熟して自然に見えるように設計し、植栽する。</li> <li>作物と鑑賞の両方に使える野菜やハーブを植栽する。</li> <li>継続的な植物の手入れを維持する。</li> <li>指示に従い、ジョイントを使ってソッド[s7][s8][KI9]/ターフまたは厚板を設置する。</li> <li>ターフエリアをローリングまたは平坦化して根塊と土壌を固め、突起や隙間、空間を除去して仕上げる。</li> <li>芝生[s10][KI11]の[s12]種をまく。</li> <li>芝生[s13][KI14]また[s15]はターフエリアに継続的な手入れとメンテナンスを施す。</li> </ul>	
セクション		相対的重要度 (%)
8	造園のテクノロジー（配管、電気、排水及び灌漑）	5
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>庭園環境における配管や排水の原理</li> <li>灌漑（給水）システムの原理と種類</li> <li>雨水の集水、蓄水および利用</li> <li>天水桶、貯水や灌漑システムの使用、設置と維持</li> <li>庭園の電気装置の設置の原則</li> <li>電気系・配管系製品の使用、設置や保守のための安全衛生要件と特徴</li> <li>電気系製品、配管系製品の設置と使用に影響を及ぼす法律と特徴</li> </ul>	
	<p>各自は以下を実施できること：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>照明、冷却、音響・熱に関して指示された低電圧配線と構成部品の設置、接続、試験</li> <li>排水管口、排水桝、地下配管や貯蔵タンク等の排水設備を指示通りに設置する</li> <li>雨水の集水、使用のための設備の設置</li> <li>地中の灌漑システムの構成部品を指示通りに設置、接続、試験し、トラブルに対応する。</li> </ul>	
9	水を利用した仕組み	7
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>造園で使用される池、水景施設、噴水の種類</li> <li>水景施設の設置方法と管理方法</li> <li>スイミングプール、温水タブの設置工程</li> <li>池や水景施設用の適切な植栽法</li> <li>水景施設の継続的な清掃とメンテナンスの要件</li> </ul>	

	<p>各自は以下を実施できること：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 柔軟性のある池の中敷きと既成の池を設置する。</li> <li>● 水生植物を池や湖に植える。</li> <li>● さまざまな水景施設の設置</li> <li>● スイミングプールや温水タブの設置</li> <li>● 関連するすべてのポンプ、配管、清掃システムと電気系設備の設置とチェック</li> <li>● 水景施設と池の手入れとメンテナンスを続ける。</li> </ul>	
<b>合計</b>		<b>100</b>

## 3 評価戦略と仕様

### 3.1 一般的なガイダンス

評価はワールドスキルの評価戦略を用いて管理される。この戦略では、ワールドスキルの評価と採点において遵守すべき原則や技法を規定している。

エキスパートによる評価の実施は技能五輪国際大会の中核を成している。この理由により、継続的な専門性開発や精査の対象となっている。評価においてより多くの専門性が求められると、採点スキームや競技課題、また競技情報システム（CIS）などの技能五輪国際大会で使用される主要な評価手段において、将来的な使用法と方向付けに影響を与えることになる。

技能五輪国際大会の評価方法は、メジャメント（測定）とジャッジメント（判定）の2つに大きく分けられる。両方の評価方法につき、各評価細目を採点するのにどちらの方法を使用するかについて明確なベンチマークを適用することが、質を保証する上で不可欠となる。

採点スキームはWSOSにおける重要度に従う必要がある。競技課題は職種競技の評価手段であり、したがって、WSOSにも従うものである。CISはタイムリーで正確な採点の記録を可能にする。CISの精査、サポート、フィードバックの可能性は継続的に拡大している。

採点スキームは、概ね競技課題の考案過程でその指標となる。その後、採点スキームと競技課題は両者一体となってWSOSと評価戦略との関係性を最適化することを保証するため、反復作業を通して考案、作成および検証される。採点スキームと競技課題は共にその質とWSOSとの適合性を明らかにするため、エキスパートの同意を得、承認を求めてWSIに提出される。

WSIの承認を得るための提出以前に、採点スキームと競技課題はその質を保証しCISの実効性を確保するため、WSIの職種アドバイザーとの情報交換の対象となる。

## 4 採点スキーム

### 4.1 一般的なガイダンス

ここでは、採点スキームの役割と位置づけ、競技課題を通して実施された選手の作業に対するエキスパートの評価方法、また、採点の手順と必要事項について記述する。

採点スキームは、それが各職種競技を表す基準と評価をつなぐものであるという点において、つまりそれ自体が世界的な職業を表すという点において、技能五輪国際大会における極めて重要なツールである。また採点スキームは、作業に対する各評価細目の評点がWSOS中の重要度に応じて配点されるように考案される。

WSOSにおける重要度を反映することにより、採点スキームは競技課題考案の制限範囲を定めることになる。職種競技の性質やその評価のために必要なニーズによっては、競技課題考案の手引きとして最初に採点スキームをより詳細に作成することが適切な場合がある。あるいは、最初の競技課題は採点スキームの概要に基づいて考案することができる。この時点より後においては、採点スキームと競技課題は同時に作成することが望ましい。

セクション2.1では、実行可能な代替案がない場合、採点スキームと競技課題がどの程度までWSOS内の重要度からかい離してよいかを説明している。

整合性と公平性のため、採点スキームと競技課題は関連する専門知識を持つ1人以上の独立した競技課題考案者によって考案および作成されるようになってきている。こうした例として、採点スキームと競技課題は職種競技または職種競技モジュールの開始直前まで、エキスパートには見られないようにしている。詳細かつ最終的な採点スキームと競技課題がエキスパートによって考案される場合、独立した認証と質の保証のための提出に先立ち、エキスパートのグループ全体でそれらを承認する必要がある。詳細は競技規則を参照のこと。

エキスパートと独立した競技課題考案者は、完了前に十分な余裕を持って、評価、検証および妥当性確認のために採点スキームと競技課題を提出する必要がある。また、質の保証のため、そしてCISの機能を最大限に活用するため、考案と作成のプロセス全体を通じて職種アドバイザー、評価者や検証者と協力して作業することも求められる。

全ての場合において、採点スキームの草案は遅くとも技能競技大会の8週間前までにCISに入力しなければならない。職種アドバイザーはこのプロセスを積極的に支援する。

### 4.2 評価基準（の項目）

採点スキームの主要な項目は評価基準（の項目）である。これらの項目は競技課題よりも前に、または競技課題と連動して得られる。職種競技の中には、評価基準（の項目）がWSOSのセクション項目と類似しているものもあれば、異なっているものもある。通常5～9個の評価基準（の項目）がある。項目が一致する、しないに関わらず、採点スキームは全体としてWSOSにおける重要度を反映しなくてはならない。

評価基準（の項目）は採点スキームを作成する個人（または複数人）により案出され、案出者は競技課題の評価や採点に最適であると考えた評価基準（の項目）を自由に決定できる。各評価基準（の項目）はAからIまでのアルファベットで示される。評価基準（の項目）、評点の配分と評価方法は、この職種定義内に記載してはならない。これは、評価基準（の項目）、評点配分、そして評

評価方法がすべて、この職種定義の公開後に決定される採点スキームと競技課題の性質に依存するためである。

CISにより作成される採点集計様式（Mark Summary Form）は、評価基準（の項目）と副基準のリストを構成するものである。

各評価基準（の項目）に割り当てられた評点は、CISによって計算される。これらは、その評価基準内の各評価細目に付与された評点の累積合計になる。

## 4.3 副基準

各評価基準（の項目）は1つ以上の副基準に分けられる。各副基準はワールドスキルの採点様式の項目になる。各採点様式（副基準）は、メジャメントまたはジャッジメント、あるいはその両方により評価され採点される評価細目で構成される。

各採点様式（副基準）には、採点日と採点チームの識別情報を記載する。

## 4.4 評価細目

各評価細目は、評価および採点される単一の項目を評点とともに規定し、また採点のためのガイドとしての詳細な説明または指示を細かく定義する。各評価細目は、メジャメントまたはジャッジメントによって評価される。

この採点様式は、配点とともに各評価細目を細かくリスト化している。各評価細目の配点の合計は、WSOSの該当セクションで指定された評点の範囲内に収めなければならない。これは、以下に示すようなCISの配点表に示され、大会開催8週間前の採点スキームの検討時に実施される。（セクション4.1を参照）

	評価基準（の項目）								セクションごとの 配点合計	WSOSの配点	相違	
	A	B	C	D	E	F	G	H				
WSOSのセクション	1	5.00							5.00	5.00	0.00	
	2		2.00					7.50	11.00	10.00	0.50	
	3								11.00	10.00	1.00	
	4			5.00					5.00	5.00	0.00	
	5				10.00	10.00	10.00		30.00	30.00	0.00	
	6		8.00	5.00				2.50	9.00	24.50	25.00	0.50
	7			10.00				5.00		15.00	15.00	0.00
合計評点		5.00	10.00	20.00	10.00	10.00	10.00	15.00	20.00	100.00	100.00	2.00

## 4.5 評価と採点

各副基準には1つの採点チームが存在し、ジャッジメントまたはメジャメント、あるいはその両方で評価と採点を行う。同じ採点チームがすべての選手を評価し、採点しなくてはならない。これが実行不可能な場合（たとえば、すべての選手が同時に行動を取らなければならない、それを監視していなければならない場合）、競技運営委員会管理チームの承認のもとに第2段階の評価と採点が行われる。採点チームは、いかなる状況でも同国/地域人の採点をしないよう組織されなければならない。（セクション4.6を参照）

## 4.6 ジャッジメントによる評価と採点

ジャッジメント（判定）には0から3の数字を用いる。厳密に一貫性を保った尺度を適用するため、以下を用いて判定する。

- 評価細目ごとの詳細なガイダンスのためのベンチマーク（基準）（文言、画像、人工物、あるいは別のガイダンス）。これは、基準評価ガイドに記述されている。
- 0～3の数字の指標
  - 0：業界水準以下の実技
  - 1：業界水準を満足する実技
  - 2：業界水準を満足しており、特定の分野においては業界水準を上回る実技
  - 3：全体的に業界水準を上回り、優秀と判断される実技

通常は3人のエキスパートが同時に各評価細目を判定し、得点を記録する。4人目のエキスパートは採点を調整および監視し、それらの妥当性を確認する。また、彼らは同国/地域選手の採点を防止するため、必要な場合には判定員としての役割を果たす。

## 4.7 メジャメントによる評価と採点

通常、3人のエキスパートが各評価細目の評価を行い、4人目のエキスパートが監督する。状況によっては二重採点のためにチームを2組のペアとして構成する場合がある。特に規定のない場合には、最高点または零点が付与される。点数を細分化する場合は、その採点に関するベンチマークを評価細目ごとに明確に定義すること。計算または送信のエラーを回避するためCISには多数の自動計算オプションが用意されており、その使用が義務付けられている。

## 4.8 メジャメントとジャッジメントの使用

基準の選択と評価方法に関する決定は、職種競技を考案する過程で、採点スキームと競技課題を通して行うこと。

## 4.9 職種の評価戦略と手順

ワールドスキルズは過去の制約の見直しや優良事例の積み重ねなど、継続的な改善に取り組んでいる。下記に示す本職種競技における職種評価戦略と手順はこのことを踏まえ、採点プロセスがどのように管理されているかを説明したものである。

スキル（技能）の評価基準（の項目）は、明確かつ簡潔な評価細目の仕様であり、特定の採点が与えられる方法と根拠を正確に説明するものである。

- 基準ごとに、最大10項目の評価細目を定めなければならない。
- メジャメント（測定）と寸法の評価細目は、セクションB、C、D、E、およびFのメジャメントの評価細目と同様である。

以下は、競技課題の各セクションで評価される評価細目を決めるためのガイドである。

### 評価細目A - 作業現場の安全

- 現場の整理整頓とセキュリティー
- 作業パターンの編成と物資の供給体制
- チームワーク
- 工具、機器と材料の使用

- 人間工学、安全衛生、個人の防護

#### 評価細目B - 緑地のレイアウト

- 個々の樹木の配置
- 個々の花壇の寸法
- 植栽スキル
- 計画に沿った植栽
- ターフの接合

#### 評価細目C - 舗装

- 舗道の正面からコーナ部までの距離
- 踏み石の高さ
- 舗道の平坦度
- 連続する横列の長さ方向における均一さ
- 切断面の仕上げ

#### 評価細目D - 壁と階段

- 壁の左側面からコーナ部までの距離
- 石段の踏み面高さ
- 壁の垂直度（転び）
- 壁正面の印象
- 壁全体にわたる石の配置の均一性

#### 評価細目E - 水景施設

- 池正面の幅
- 水面の高さ
- 池の中敷きの正しい施工、すなわち水封性
- 池の縁石の位置と安定性
- 水石の正しい施工

#### 評価細目F - 木造構造物

- デッキ正面の長さ
- パーゴラ支柱の高さ
- デッキ構造の安定性
- デッキの切断部の精度
- パーゴラ（つる棚）の固定具とねじくぎの正しい使用

#### 評価細目G - 全体的な印象

- 景観に配慮した外観
- 創造性
- 全体的な清潔さ
- 外観全体
- 植物の組み合わせ

別個の採点グループが特定のメジャメント採点の評価細目を担当するよう指名される。ジャッジメント（判定）採点用に、記述語（文の説明要素となる単語またはフレーズ）が開発、実装されている。独立したプロフェッショナル（専門家）測定チームが測定計画に記述されている通りに、競技課題のメジャメント採点を担当する。



- 採点は、採点スケールに従ったメジャメントとジャッジメントから構成される。
- 各評価基準は、競技課題の完成時点での採点を現実的に可能とさせるものであること。または習熟期間内にチーフ・エキスパートより明確な時間枠が与えられる場合、評価される評価ポイントを技能競技大会中に選定できる。
- 評価基準に関連する公差は、業界標準を反映させたものでなければならない。
- 評点は、技能競技大会用に定められた採点尺度に応じて変化するが、全体的にはワールドスキルズ職業基準の相対的重要度に合わせる。
- エキスパート採点チームは、採点基準ごとに変更する。各チームには、経験、文化、言語および出身大陸が異なるエキスパートを配分する必要がある。
- 1つのエキスパート採点チームは、すべての選手に対して同じ評価細目を採点する。
- 各エキスパートは、可能な限り、評価基準の同じ割合を採点する。

## 5 競技課題

### 5.1 一般的な説明

セクション3（評価戦略と仕様）と4（採点スキーム）は、競技課題の作成について規定している。以下の記述は補足である。

競技課題は、それが単体のものでも、複数の独立または関連したモジュールの集合体でも、WSOSの各セクションで規定された応用知識、技能や振舞いに対する評価を可能とすること。

競技課題の目的は、WSOSを通して十分に、均衡が取れ、かつ真正な評価と採点の機会を採点スキームとの連携において与えることである。競技課題と採点スキームおよびWSOSの関係性が、品質における重要な指標となる。実際の作業能力との関係性についても同様である。

競技課題は、セクション2（ワールドスキルズ職業基準）で示された状況以外では、WSOSの範囲外の領域をカバーしたり、WSOS内の採点のバランスに影響を与えることはない。この職種定義では、WSOSに関係する全範囲の評価をサポートするため、競技課題の性質に影響を与えるいかなる問題についても記載する。セクション2.1を参照のこと。

競技課題は、実際の作業における応用を通してのみ知識や理解の評価を可能とする。競技課題は、ワールドスキルズのルールと規則に関する知識を評価するものではない。

現在、ほとんどの競技課題（および採点スキーム）はエキスパートから独立して考案、そして作成されている。これらは職種競技マネージャまたは独立した競技課題考案者によって、通常は大会開催12か月前から考案、作成される。それらは独立した評価、検証と妥当性確認の対象となる。（セクション4.1を参照）

以下に掲げる情報は、この職種定義の完成時点で判明する内容と秘密保持要件の対象となるものである。

詳細については、最新版の競技規則を参照のこと。

### 5.2 競技課題の形式/構造

競技課題は、段階的に評価される単一の競技課題である。

### 5.3 競技課題の考案要件

競技課題は、その基礎となる職業的役割の目的、仕組み、プロセス、成果を反映すべきである。競技課題は、その役割の小規模版を目指すことが望ましい。職種管理チームは実用性に注力する前に、競技課題の考案がセクション5.1に記されているように、WSOS全体において十分に、均衡が取れ、かつ真正な評価と採点の機会をもたらす方法を示すべきである。

- 競技課題は、30 m<sup>2</sup> 以上50 m<sup>2</sup> 以下のスペースを対象に施工するものとする。競技課題では、承認済みの計画図と仕様書に基づいて支給される天然の石、コンクリート、木材および/またはプラスチック材、土壌、ローン、植物などの様々な材料を使って小規模庭園の造園工事を行う。
- 競技課題は以下の造園要素のいくつかまたは全てを盛り込む：
  - 舗道および/またはその他の地面施工
  - 壁、土止めおよび/または自立壁
  - 階段および/または踏み板

- 木造構造物または類似のもの
- 水景施設

独立した競技課題考案者は、現地で入手可能な材料を使用する必要がある。これらは、評価基準（の項目）の作成時に考慮される。

競技課題は、大会開催組織から選手に与えられる時間枠、材料と工具の範囲内で作成できなければならない。

## 5.4 競技課題の調整と作成

競技課題は、必ずワールドスキルズインターナショナルが提供するテンプレートを用いて提出すること（[www.worldskills.org/expertcentre](http://www.worldskills.org/expertcentre)）。テキスト文書にはWordテンプレートを、図面にはDWGテンプレートを使用すること。

### 5.4.1 競技課題の調整（技能競技大会の準備）

競技課題/モジュールの調整は、職種競技マネージャが行う。

### 5.4.2 競技課題/モジュールの作成者

競技課題/モジュールは、独立した競技課題考案者（ITPD）が職種競技マネージャと協力して作成する。

### 5.4.3 競技課題の作成時期

競技課題/モジュールは以下のタイムラインに従って作成される。

時期	活動
大会開催10か月前	ITPDが特定され、WSIとITPDの間で秘密保持契約が締結される。
大会開催3か月前	競技課題/モジュールについての大会前情報が、ワールドスキルズのウェブサイトで開催される。 ワークショップ・マネージャは、選手が競技課題の完成のために持参する必要のある手工具を提案する。 詳細なインフラリスト（種類、写真、植物種など）
大会開催4日前	競技課題/モジュール、図面と仕様がエキスパートに提示される。
大会開催2日前	競技課題/モジュール、図面と仕様が選手に提示される。

## 5.5 競技課題の初期評価と検証

競技課題の目的は、特定の職業における卓越した専門家の職業生活を忠実に表現するよう、選手の課題を作成することである。こうすることにより、競技課題は採点スキームを有用のものとし、WSOSを完全に表現するものとなる。この意味で、競技課題はその背景、目的、活動と期待において類する物がない。

競技課題の考案と作成をサポートするために、厳密な質の保証と考案プロセスが整っている（競技規則の10.6-10.7を参照）。ワールドスキルズによって承認されると、独立した競技課題考案者（ITPD）は競技課題の妥当性確認に先立って独立した競技課題考案者のアイデアと計画に対する初期的な検討を行い、続いて競技課題を検証するための1人以上の独立した専門家で、かつ信頼できる個人を特定することが求められる。

スキルアドバイザーは、競技規則のセクション 10.7 に根拠を与えるリスク分析に基づき、初期評価

と検証の両方の適時性と徹底性を保証するため、この取り決めに確保および調整する。

## 5.6 競技課題の妥当性確認

職種競技マネージャは、競技課題/モジュールの妥当性確認に関する調整を行い、選手の材料、機材、知識と時間の制約内で完了できることを保証する。

## 5.7 競技課題の公開

競技課題/モジュールは、技能競技大会以前には公開されない。競技課題/モジュールは、エキスパートに対しては大会開催4日前に、選手に対しては大会開催2日前に提示される。

一般的な選手の競技会前情報は、大会開催3か月前にワールドスキルのWebサイトで公開される。競技課題/モジュールに関する技術情報や詳細情報は共有されない。

## 5.8 競技課題の変更

競技課題は独立した競技課題考案者（ITPD）によって作成されるため、技能競技大会で競技課題/モジュールに変更を加える必要はない。ただし、競技課題文書の技術的エラーとインフラの制約から生じる修正は除く。

## 5.9 材料または製造業者の仕様

選手が競技課題を完了するために必要となる特定の材料および（または）製造者の仕様は、大会開催組織より提供され、エキスパートセンターにあるリンク[www.worldskills.org/infrastructure](http://www.worldskills.org/infrastructure)より入手できる。ただし、特定の材料および/または製造者仕様の詳細は秘密にされている場合があり、技能競技大会前に公開されない場合があることに注意すること。そのような物の中には、故障発見モジュールや公開されていないモジュールの物品が含まれる場合がある。

## 6 職種管理と情報伝達

### 6.1 ディスカッションフォーラム

職種競技に関する議論、情報伝達、協力と意思決定の全ては、技能競技大会に先立ち、ワールドスキルの職種限定のディスカッションフォーラムで実施すること（<http://forums.worldskills.org>）。職種に関連する決定と情報伝達は、ワールドスキルのディスカッションフォーラムで行われた場合のみ有効とする。チーフエキスパート（または職種管理チームが指名したエキスパートリード）が、このディスカッションフォーラムの進行役となる。情報伝達に関するタイムラインと職種競技作成の要件については、競技規則を参照のこと。

### 6.2 選手の情報入手

大会登録された選手のための情報は、すべて選手センター（[www.worldskills.org/competitorcentre](http://www.worldskills.org/competitorcentre)）から入手できる。

入手可能な情報は以下の通り：

- 競技規則
- 職種定義
- 採点集計様式（該当する場合）
- 競技課題（該当する場合）
- インフラリスト
- ワールドスキルズ安全衛生および環境に関する方針と規制
- その他の技能競技大会関連の情報

### 6.3 競技課題と採点スキーム

公開中の競技課題は、[www.worldskills.org/testprojects](http://www.worldskills.org/testprojects) および選手センター（[www.worldskills.org/competitorcentre](http://www.worldskills.org/competitorcentre)）から入手できる。

### 6.4 大会期間中の各日の職種管理

技能競技大会中の日々の職種競技の管理は、職種管理チームが作成した職種管理計画に定められている。職種管理チームは、SCM（職種競技マネージャ）、チーフエキスパートとエキスパートリードで構成される。職種管理計画は技能競技大会の6ヶ月前から順次作成され、技能競技大会時に完成する。職種管理計画はエキスパートセンター（[www.worldskills.org/expertcentre](http://www.worldskills.org/expertcentre)）で閲覧することができる。

### 6.5 一般的な最良事例の手順

一般的な最良事例の手順では、最良事例の手順と職種限定規則（9）の違いを明確に説明する。一般的な最良事例の手順は（倫理行動規程罰則システムを含む問題および紛争解決手順の一部として罰則が適用されるであろう）競技規則または職種限定規則への違反として、エキスパートや選手が責任を課されてはならないものである。場合により、選手に向けた一般的な最良事例の手順が採点スキームに反映されることもある。

トピック/タスク 最良事例の手順	
通訳者のメモ取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>通訳者は、翻訳のため必要がある場合、エキスパート会議中にメモを取ることができる。しかし、同会議後、チーフ・エキスパートにそのメモを提出しなければならない。</li> </ul>
選手のメモ取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>選手は、職種競技マネージャ、チーフ・エキスパートによる競技課題の説明中にメモを取ることができる。選手が自分たちだけで競技課題の作業を行っている場合はメモを取ることができる。すべてのメモは、競技第4日目の職種競技が終了するまでワークショップ（各職種競技場）に置いておかなければならない。</li> </ul>

## 7 職種限定の安全要件

### 7.1 個人用防護具

開催国/地域の規約の情報として、ワールドスキルズ安全衛生および環境に関する方針と規制を参照すること。

各課題に対して、安全要求事項計画を立案し、さらに、危険な材料、工具および作業プロセスをこれらの危険分析者が審査する危険分析も実施しなければならない。PPE（個人用防護具）要求事項に関してはワークショップ・マネージャの合意を得なければならない。

タスク	安全 メガネ	つま先 とかかと が閉じた 頑丈な靴	防塵 マスク	手袋	保護 キャップ 付き 安全靴	作業服 (長ズボン および長袖 または半袖 シャツ- 背中や肩の 地肌が見え ないものと する)	防音 保護具	膝当て
土壌または下地の取り扱い	√	√	√	√	√	√		
土の締め固め	√	√		√	√	√		
天然石の鋸引き	√	√	√	√	√	√	√	
木材の鋸引き	√	√	√	√	√	√	√	
ドリルでの木材の穴開け	√	√	√		√	√	√	√
天然石の切断	√	√	√	ノミ (手工具 のみ)。 ハンマー は不要	√	√	√	√
踏み石と天然石の敷設	√	√		√	√	√		√
石畳用の石の敷設	√	√		√	√	√		√
水平面の整備	√	√		√	√	√		
植栽作業	√	√		√	√	√		ひざをつく場合

## 8 材料と機材

### 8.1 選手の工具箱

インフラリストには、大会開催組織が提供するすべての機材、材料、設備の詳細が記載されている。

インフラリストは、[www.worldskills.org/infrastructure](http://www.worldskills.org/infrastructure)で入手可能である。

インフラリストには、次回の技能競技大会に向けて職種管理チームが要求した品目と数量が記載されている。大会開催組織は、順次この品目の実際の数量、種類、ブランド、型式を指定したインフラリストを更新する。特定の材料および/または製造元の仕様の詳細は秘密にされている場合があり、技能競技大会の前に公開されない場合があることに注意すること。そのような物の中には、故障発見モジュールや公開されていないモジュールの詳細が含まれる場合がある。

各技能競技大会において、職種管理チームは、次回の技能競技大会に備えたインフラリストの検討と更新を行わなければならない。職種競技マネージャは、スペースおよび/または機材の増加がある場合は必ず、技能競技大会ディレクターに報告しなければならない。

各技能競技大会において、技術オブザーバーは、次回の技能競技大会に向け、その技能競技大会で使用されるインフラリストを監査する必要がある。

インフラリストには、選手および/またはエキスパートが持参する必要がある品目や選手の持参が禁止されている品目は含まれない。これらの品目は以下に記載する。

### 8.2 選手の工具箱

選手は、総外部容積が1 m<sup>3</sup>を超えない工具箱を複数持ち込むことができる。

(容積 = 長さ x 高さ x 幅、または  $V = L \times H \times W$ )

容積の測定には、梱包箱、その他の保護梱包材、輸送用パレット、車輪などは含まない。

### 8.3 選手が提供する材料・機材・工具

次の物品は、工具箱で持ち込むことができる。

- 水準（墨出し、測定）器（例えば、自動水準器、レーザ水準器）
- 折れ尺[s16][s17][KI18]、巻尺
- 鉛筆/油性チョーク
- 水系（およびポール）
- ランプハンマー（無反動ハンマーなど）
- 移植ごて
- 石工用ハンマー
- 直角定規
- アルコール水準器
- ボルスター（石ノミ）
- 大工のこぎり



- 木工用ノミ
- 木槌
- 剪定ばさみ
- 剪定のこぎり

このリストは網羅的なものではなく、チームが必要とみなす器具を追加する可能性もある。

さらに選手は、セクション7の職種限定の安全要求事項で指定されているように、自身の個人用防護具を準備する必要がある。

競技エリアへの構造用木材の持ち込みは禁止されている。測定用の持続可能な木材は許可されている（スレッド、PWC、デュラウッドなど）

## 8.4 エキスパートが提供する材料・機材・工具

エキスパートは、セクション7の職種限定の安全要件に明記されているとおり、自身の個人用防護具を用意しなければならない。エキスパートは、通訳者の防護具の用意についても責任を負うこと。

## 8.5 職種エリアで禁止されている材料・機材

選手とエキスパートは、セクション8.3および8.4に記載されていない材料または機材を持参することを禁止されている。

必要な安全規則を満たさない材料と装置（機材）の持ち込みは禁止する。

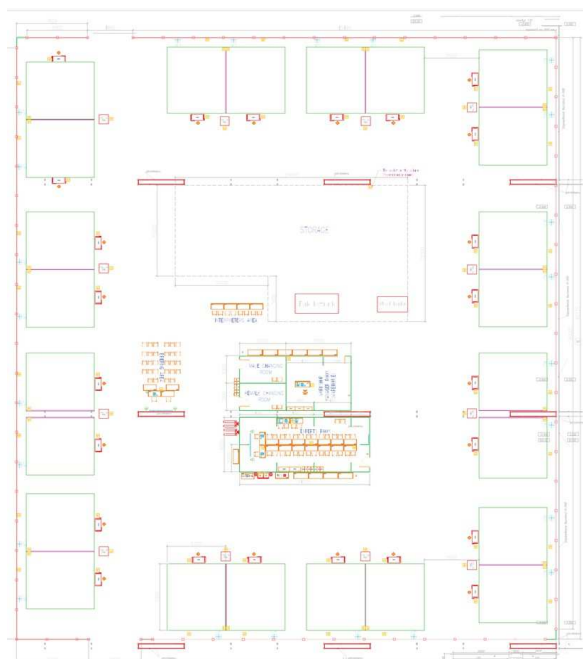
アングルカッターは禁止。

すべての電動工具の持ち込みは禁止される（大会開催組織が提供する）。

## 8.6 ワークショップとワークステーションのレイアウト案

過去大会におけるワークショップのレイアウトは、[www.worldskills.org/sitelayout](http://www.worldskills.org/sitelayout)で入手できる。

### ワークショップのレイアウト例



## 9 職種限定規則

### 9.1 一般的な説明

職種限定規則は競技規則と矛盾があってはならず、競技規則より優先されてはならない。職種限定規則は職種競技によって異なるであろう分野において具体的詳細を示し、明確にする。これは、個々のIT機器、データ記憶装置、インターネットアクセス、手順やワークフロー、文書管理や配布を含むが、その限りではない。これらの規則に対する違反は、倫理行動規程罰則システムを含む、問題および紛争解決の手順に従って解決される。

### 9.2 職種限定規則

トピック/タスク	職種限定規則
テクノロジーの使用 - USB、メモリスティック	<ul style="list-style-type: none"> <li>選手は、メモリスティックをワークショップ（各職種競技場）に持ち込んで서는ならない。これらのアイテムをワークショップに持ち込む場合は、各職種競技日の終わりまで個人用ロッカーに施錠保管しなければならない。</li> <li>職種競技マネージャ、チーフ・エキスパート、エキスパートおよび通訳者は、ワークショップへのメモリスティックの持ち込みが許可されている。</li> </ul>
テクノロジーの使用 - 個人用ノートパソコン、タブレットおよび携帯電話	<ul style="list-style-type: none"> <li>選手は個人のノートパソコン、タブレット、携帯電話をワークショップに持ち込むことはできない。これらのアイテムをワークショップに持ち込む場合は、各職種競技日の終わりまで個人用ロッカーに施錠保管しなければならない。</li> <li>職種競技マネージャ、チーフ・エキスパート、エキスパートおよび通訳者は、個人のノートパソコン、タブレットまたは携帯電話をワークショップに持ち込んで使用することができる。</li> </ul>
テクノロジーの使用 - 個人の写真・動画撮影用デバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>職種競技マネージャ、チーフ・エキスパート、エキスパート、選手および通訳者は、ワークショップで個人の写真・動画撮影用デバイスを使用することができる。</li> </ul>
テンプレート、補助器具等	<ul style="list-style-type: none"> <li>選手は、簡単な型板や補助器具を持ち込み、使用することができる。これらのアイテムは、競技第1日目から競技第4日目の技能競技大会中にも製作することができる。</li> <li>持ち込まれた、または製作されたこれらのアイテムは、指定されたエキスパートグループのチェックを経てから使用が許される。</li> </ul>
図面、情報の記録	<ul style="list-style-type: none"> <li>選手、エキスパートと通訳者は競技第4日目の技能競技大会終了時までワークショップから図面または記録した情報を持ち出してはならない。</li> <li>職種競技マネージャとチーフ・エキスパートにはこの規則は適用されない。</li> </ul>

## 10 来場者とマスコミに対する職種の広報活動

### 10.1 広報活動の実施方法

来場者とマスコミに対する職種の広報活動が最大限に見込める方法を以下に挙げる。

- 技能体験
- ディスプレイ画面
- 競技課題の説明、計画および図面
- 選手の活動に対する理解の促進
- 選手のプロフィールの紹介
- 就業機会の情報提供
- 競技状況の毎日の掲示
- 「ベスト・ガーデン」の来場者投票

この職種スキル（技能）のマーケティングにおいては、グリーンシティコンセプトと持続可能な造園について明確にしなければならない。

<http://thegreencity.com/>

[https://en.wikipedia.org/wiki/Sustainable\\_gardening](https://en.wikipedia.org/wiki/Sustainable_gardening)

当業界に人々をより一層引き込む必要がある（楽に、そして自ら取り組んでもらう）。

# 11 持続可能性

## 11.1 持続可能性の実践

本職種競技では以下の持続可能な実践活動を重視する。

- 職種競技後の材料リサイクル、またはリサイクル材料の使用
- グリーン材料とグリーン技術の使用
- 完成した競技課題（または構成部品）の技能競技大会後の再利用
- 職種競技における競技課題の環境への影響と、実生活において考えられる影響について説明し、評価すべきである。[\[s19\]](#)[\[K120\]](#)[\[s21\]](#)造園によって多くの環境問題が解決する（可能性がある）ことを人々に理解してもらう必要がある。
- ケータリングにおいても使い捨てプラスチック製品の使用を避ける

## 12 産業界との協議に関する情報

### 12.1 一般的な説明

ワールドスキルズは、ワールドスキルズの職業基準が業界や企業における国際的に認められた最良事例のダイナミズムを完全に反映するよう努めている。そのため、ワールドスキルズは2年周期で関連する職業の役割についての説明案とワールドスキルズ職業基準に対するフィードバックが提供可能な、世界中の多くの組織にアプローチを行っている。

並行して、WSIは3件の国際職業分類とデータベースを参照している。

- ISCO-08: (<http://www.ilo.org/public/english/bureau/stat/isco/isco08/>)
- ESCO: (<https://ec.europa.eu/esco/portal/home>)
- O\*NET OnLine ([www.onetonline.org/](http://www.onetonline.org/))

### 12.2 参考情報

このWSOS（セクション2）は、造園師に最も密接に関連していると考えられる：

<http://data.europa.eu/esco/occupation/1009be17-7efd-45f1-a033-566bf179c588>

O\*net：基本的または監督的役割を担う。

<https://www.onetonline.org/link/summary/37-3011.00>

関連する職業もこれらのリンクから調べることができる。

ILO 6113

以下の表に、技能五輪国際大会（2024年リヨン大会）に向け、関連する職業の役割の説明とワールドスキルズ職業基準について打診され、有益なフィードバックを提供した組織を示す。

このサイクルでは、フィードバック要求に対する応答はなかった。

# 13 付録

## 13.1 付録情報

該当なし。